

CASBEE-広島（2010年ver.1）

スパーク宇品店

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト： CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分			
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質										2.8	
Q1 室内環境							0.40			2.6	
1 音環境						3.0	0.15		-	3.0	
1.1 騒音						3.0	0.70		-		
1.1.1 暗騒音レベル						3.0	1.00		-		
1.1.1.1 設備騒音対策							-		-		
1.2 遮音							-		-		
1.2.1 開口部遮音性能							-		-		
1.2.2 界壁遮音性能							-		-		
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-		-		
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-		-		
1.3 吸音						3.0	0.30		-		
2 温熱環境						2.0	0.35		-	2.0	
2.1 室温制御						3.0	0.50		-		
2.1.1 室温設定						3.0	0.50		-		
2.1.1.1 気密・断熱性能の確保							-		-		
2.1.2 外皮性能						3.0	0.17		-		
2.1.3 ゾーン別制御性						3.0	0.33		-		
2.1.3.1 日射・室温制御							-		-		
2.1.3.2 風向制御							-		-		
2.1.3.3 放射熱対策による対策							-		-		
2.1.3.4 断熱性能の確保							-		-		
2.2 湿度制御						1.0	0.20		-		
2.3 空調方式						1.0	0.30		-		
3 光・視環境						3.0	0.25		-	3.0	
3.1 屋光利用						3.0	0.50		-		
3.1.1 屋光率							-		-		
3.1.2 方位別開口							-		-		
3.1.3 屋光利用設備						3.0	1.00		-		
3.2 グレア対策							-		-		
3.2.1 眩光対策の検討							-		-		
3.2.2 屋光制御						3.0	-		-		
3.3 照度							-		-		
3.3.1 照度							-		-		
3.3.1.1 照度対策							-		-		
3.4 照明制御						3.0	0.50		-		
4 空気質環境						3.0	0.25		-	3.0	
4.1 発生源対策						3.0	0.50		-		
4.1.1 化学汚染物質				床・壁・天井のほぼ全面に告示対象外またはF☆☆☆☆を採用		3.0	1.00		-		
4.1.1.1 化学汚染物質							-		-		
4.1.1.2 化学汚染物質							-		-		
4.1.1.3 化学汚染物質							-		-		
4.2 換気						3.0	0.30		-		
4.2.1 換気量						3.0	0.50		-		
4.2.2 自然換気性能						3.0	-		-		
4.2.3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50		-		
4.2.3.1 給気計画							-		-		
4.3 運用管理						3.0	0.20		-		
4.3.1 CO ₂ の監視						3.0	0.50		-		
4.3.2 喫煙の制御						3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性						3.2	0.40		-	3.2	
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-		
1.1.1 広さ・収納性							-		-		
1.1.2 高度情報通信設備対応							-		-		
1.1.3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性						2.6	0.30		-		
1.2.1 広さ感・景観						3.0	0.33		-		
1.2.2 リフレッシュスペース						1.0	0.33		-		
1.2.3 内装計画				来客者に対する売場イメージ、機能性をデザインに反映した。		4.0	0.33		-		
1.3 維持管理						4.0	0.30		-		
1.3.1 維持管理に配慮した設計				メンテナンス重視の設計による。		4.0	0.50		-		
1.3.2 維持管理用機能の確保				メンテナンス重視の設計による。		4.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性						2.6	0.31		-	2.6	
2.1 耐震・免震						3.0	0.48		-		
2.1.1 耐震性						3.0	0.80		-		
2.1.2 免震・制振性能						3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数						2.7	0.33		-		
2.2.1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.23		-		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.23		-		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.09		-		
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.08		-		
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.15		-		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.23		-		

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			1.8	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20		-	
	3	電気設備		1.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.5	0.29		-	3.5
	3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		-	
	1	階高のゆとり	売場イメージ向上の狙い	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ	大空間による売場開放感確保の狙い	5.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			2.8	0.38		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		2.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮		低層戸建住宅地としてのまちなみに配慮した。	4.0	0.40		-	4.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
	LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
	LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
	1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30		-	3.0
	2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
	3 設備システムの高効率化		ERR=0	3.8	0.30		-	3.8
	4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
	LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
	1 水資源保護			2.2	0.15		-	2.2
	1.1	節水		1.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
	2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
	2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63		-	3.1
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用	3.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨造、乾式工法採用による。	4.0	0.24		-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	3.2
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	
	1	消火剤	既製品(消火器、パッケージ型屋内消火栓)のみ	4.0	0.33		-	
	2	断熱材		3.0	0.33		-	
	3	冷媒		3.0	0.33		-	
	LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
	1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33		-	3.0
	2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
	2.1	大気汚染防止	オール電化	5.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		2.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	来客者の利便性確保の狙い	5.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	周辺住民への配慮と衛生管理上の安全性確保のため	4.0	0.25		-	
	3 周辺環境への配慮			2.1	0.33		-	2.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	0.33		-	
	2	振動		3.0	0.33		-	
	3	悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40		-	
	1	風害の抑制		1.0	0.70		-	
	2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	